自動車はふたたび故郷へ (2010)

CHANTRAPAS

メディア 映画

ジャンル ドラマ コメディ

製作国 フランス／グルジア／ロシア

色彩 Color

時間 126分

初公開日 2012/02/18

公開情報 ビターズ・エンド

【キャッチコピー】

どんなときも、口笛ふいていこう。

【解説】

「月曜日に乾杯!」「ここに幸あり」のグルジアの巨匠オタル・イオセリアーニ監督が、自身の実人生を投影した青年映画監督を主人公に描く半自伝的コメディ・ドラマ。検閲や規制に耐えかね、撮りたい映画を撮るべく祖国グルジアを飛び出した監督が、結局新天地でもさまざまな困難に直面しながら自分を貫き通そうと悪戦苦闘する姿を、シリアスなテーマの中にもユーモアを織り交ぜのんびりとしたタッチで綴る。主演はイオセリアーニ監督の孫で、「月曜日に乾杯!」に続いての出演となるダト・タリエラシュヴィリ。

旧ソ連時代のグルジア共和国。気ままでやんちゃな少年時代を過ごしたニコは、やがて憧れの映画監督になる夢を実現させる。しかし、苦勞して撮り上げた映画は検閲官の判断によって上映禁止に。おまけに何者かの監視に遭い、一時的に投獄されるハメに。グルジアでは自分の撮りたい映画が撮れないと、ついにフランスへ旅立つ決心をするニコだったが…。

【クレジット】

監督	オタル・イオセリアーニ	Otar Iosseliani	
脚本	オタル・イオセリアーニ	Otar Iosseliani	
撮影	リオネル・クザン	Lionel Cousin	
	ジュリー・グリュンバウム	Julie Grünbaum	
美術	エマニュエル・ド・ショヴィニ	Emmanuel de Chauvigny	
音楽	ジャルジ・バランチヴァゼ		
出演	ダト・タリエラシュヴィリ	Dato Tarielachvili	ニコラス
	ビュル・オジエ	Bulle Ogier	カトリーヌ
	ピエール・エテックス	Pierre Etaix	フランスのプロデューサー